

奈良県農業研究開発センター 交流・サロン棟



【施設外観】

奈良県農業研究開発センター 交流・サロン棟



【エントランスホール】

奈良県農業研究開発センター 交流・サロン棟



【2階バルコニー】



【2階ホール】



【図書室】



【研修室A】

奈良県農業研究開発センター 交流・サロン棟 一部木造・木質化の概要

【所在地】 桜井市池之内130-1

【構造／工種】 木造2階建（サミットHR工法）／新築

【整備内容】 木造による新築・建物内外装の木質化

【規模】 延べ床面積 1,351 m²

【県産材使用量】 約 233 m³

【樹種】 スギ、ヒノキ

【特徴】

- 池之内古墳群をイメージした楕円形の屋根形状で、自然採光と通風・排煙のため、越屋根を設けた外観とした。
- 内部は、奈良県産材に囲まれた明るい開放的なエントランスホールを中心にした配置とした。
- エントランスホールには地場産業や特産品の展示を行えるように奈良県産材（スギ）の木格子壁を設置。
- 2階バルコニーには奈良県産材（ヒノキ）のルーバーを設置。